

南の窓

143号

甲府南高校PTA通信
甲府市中小河原町
山梨県立甲府南高校
PTA事務局
TEL055-241-3191(代)

令和二年度PTA役員

今年度はスタートから新型コロナウイルス感染症のため、学校休校が続ぎ、PTA総会も実施できない状況で規程により急遽実施しました四月二十八日(火)のPTA臨時常任委員会において、左記の通りPTA全校役員が決定しました。



会長 副会長(3年) 副会長(2年) 副会長(1年) 副会長(女性部) 監査委員長 監査委員 監査委員	宮本知功 横山敬徳 宮川勇子 河野道子 早川亜希子 柳本靖子 角田美子 清水陽子 土橋正洋 加賀義正 藤本さおり 篠原茂樹 早川保彰 小川久美 井上義彦
--	--



戮力協心

(りくりよくきょうしん) 全員の力を結集し、一致協力して目的を実現させること。

平素は本校PTA活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。今年度伝統ある甲府南高校PTA会長を務めさせていただきましたことになりました。新型コロナウイルス感染症の影響で学校生活に多大な影響が生じていますがPTA活動についても同様です。これまでの方法では行うことができない事柄が生じております。実際に、役員選出に関しても入学式やクラス懇談会等学校行事が実施されず、担任の先生や親同士の顔合わせもない中で選出するという困難がありました。このような状況の中においても甲府南高校に通う子ども達のためにと役員を快諾してくださいました皆さんにこの場を借りて感謝申し上げます。

PTA会長 宮本知子



歴史に残るこの困難を、保護者の代表であるPTA役員一同保護者の皆様と共に様々な変化に対応しながら子ども達の「開拓者精神」を磨く高校生活の支援に尽力したいと考えております。合わせて、新しいPTA活動のスタイルについても、PTA会員の皆さまそして先生方の英知を集め、子ども達のために何ができるのか改めて模索する一年としていきたいと考えております。

「探究」校長 篠原茂樹



将棋の最年少タイトル獲得記録を更新し、十七歳十一月で初タイトルの「棋聖」を獲得した高校生棋士、藤井聡太さんのコメントに、「将棋とは本当に難しいゲームで、この立場になってもまだまだ分からないことばかりだなと感じるので、これから探究心をもって盤上に向かっていきたい」という言葉がありました。現役最強と言われる、三十六歳の渡辺明棋聖との熱戦を制した十七歳の高校生の謙虚で、向上心のある言葉に、心を動かされました。

「探究」は、教育現場においても、重要なキーワードです。生徒が興味をもったことについて、主体的に、情報の収集や整理・分析をしてまとめるといった能力の育成が求められています。本校では、SSH事業の中で探究活動を主眼とした「フロンティア探究」という学校独自の科目を実施することにより、知識・技能の習得、思考力や表現力等の育成、そしてその基盤となる学びに向かう力・人間性の醸成などに取り組んでいます。こうした高校での学びが、急激に変化する予測不能な社会を生きていくための資質や能力となることを願っています。

目を鍛える

南高を育てる会会長 土橋正洋



頭のいい人とそうでない人の違いとは？才能？環境？私の周りのそうである人たちの共通点は、「目の良さ」だと気づきました。もちろん単なる視力の問題ではありません。

同じものを見ていても、頭のいい人とそうでない人とは見えてくる世界が全然違うのです。なぜ空は青いのだろうか？なぜ空は青いのか？

今こそ「フロンティア・スピリッツ」が必要な時！

進路後援会会長 加賀美義正



コロナ禍の収束する兆しは一向に見えず、先が見通せない状況で、どうしていいのかわからず、マイナスマス思考に陥りがちの昨今です。

こんな時こそ、「危機こそチャンス」という言葉を思い出し、危険に掛けることなく自分を巻き込む状況を見極め、どのように舵取りをするべきなのかを考え、危機をチャンスに変えて成功した例は少なくありません。脳科学者の茂木健一郎先生も「危機は創発のチャンスである。古い秩序がもはや立ちゆかなくなり、不安に満ちている時代こそ、新しいものを生み出すチャンスが来る。」と述べています。今がチャンスです。知恵と勇気を振り絞って、前を向いて、「新しいコロナ時代」を切り拓いていってほしいと願っています。

新しい生活様式

クラブ後援会会長 藤本さおり



今年二月私達の生活は一変しました。多くの大会やイベントの中止に悔しい思いを何度もした事でしょう。特に三年生の無念さは察するにあまりあります。辛い状況下でも苦境を乗り越え、やれる事を頑張る姿勢はコロナ禍を生きていく術となる事でしょう。運動部では県大会が行われましたが、どの部も満足に活動できない状況にあります。今後どんな事が可能なのか手探りの生活が続きますが、前向きに、やれる事を頑張る姿勢はコロナ禍を生きていく術となる事でしょう。

